

220

捷二號作戰ニ於ケル 2YBノ作戰經過概要

5P 水雷主務參謀 中佐 森 幸吉 記憶

一、捷號作戰勃發前ノ 2YB 5Pノ編制、任務、作戰準備等

(1) 昭和十九年八月初旬 5P (口那智、21S 那智、足柄、木曾、多摩

1Sa▷阿武隈、18dg 不知火、霞、曙、潮、21dg 若葉、初春、初霜)ハ HTB

ヨリ除カレ 3Pノ麾下ニ入り 2YBトシテ IKaBニ編入サレ捷一號作戰ニ於

テハ南ヨリスル 1YBト協同北方ヨリ之ヲ攻撃スル作戰計畫ノ下ニ内

海西部ニ於テFBトノ協同訓練ヲ主トシテ實施ス

(2) 爾後新編 2S 指揮下ニ編入セラレアリシガ編制替ニ依リ 1YBニ改編又

木曾ハ射撃電探實驗ノ爲横嶺部隊ニ入り多摩ハ▷ 11edニ變更セラ

ル 5Pノコトアリ

尙 41dgノ編入セラレシコトアリシモ捷一號作戰發動前 2KdBノ作戰行

動決定ニ伴ヒ 2YBハ固有ノ 5P編制ニテ出撃ノコトナ

三 出撃ヨリ奄美大島入港迄

(1) 0000 15 ZYB (修理ノ爲出港間ニ合ハズ大島ニテ合同) 早朝 17 奄美大島

入港

ZIS ヨリ所要ノdへ補給燃料ヲ平均ニス

三 奄美大島ヨリ馬公入港迄

(1) 大島ニテGFヨリ南下馬公ニテ待機スベキ命アリ 早朝 18 大島出撃

(2) 黎明 20 馬公ニ入港 補給 (5F滿載)

四 馬公在泊中

(1) Zldg ハ臺灣所在PB (IAF?)ノ轉進ニ要スル基地物件「マニラ」輸送
ノ爲二十一日(?)高雄ニ向ケ分離(爾後遂ニ合同シ得ズ、
Zldg ハ

突入作戰ニ不参加)

(2) 爾後ノ作戰ニ關シ種々論議

(イ) 21g 至リ

「P GXP」ハ「2YB」ヲシテ「スリガオ」海峡南方「レイテ」灣ニ突入
1YBニ

協同セシムベキ」旨ノ電命ニ接ス

(ニ) 22日 馬公出港 (21g 18d (21dg))

出港後東沙群島寄りニ南下「リングエン」西方ニテ「發進當隊ノ

作戰要領通報竝ニ「1YB」打合せ事項ヲ「マニラ」ヨリ打電ノコトトス

馬馬公ヨリ「コロソ」灣入港迄

(イ) 1YB (主隊及第三部隊)ノ行動豫定ヲ知リシハ本航海中ニシテ直接
電報受信ニ依ルモノト記憶ス

(ロ) 夕刻 23 「コロソ」灣南方「クリオン」島泊地入港
料均分 (最大 20K 五晝夜程度) 21g ヨリ 18d 補給燃

「コロソ」灣油槽船不在

(ハ) 21dg 「コロソ」南東方海面ニテ合同指令トシモ遂ニ合同不可能

六「コロソ」出撃「スリガオ」海戦迄

(1) 0200 23 出撃 (218 1Sa (21dg 缺) 即チ 6AX2 10X1 dX4) 南下

(2) 出撃後 1YB ガ猛烈ナル空襲ヲ連續受ケツツアルヲ受信ス、但シ第三部隊ヨリハ敵情ニ關シ何等受信セズ、我又敵機ヲ見ズ、從テ南方隊タル我及西村隊ハ敵ニ發見セラレルコトナク進撃中ナリト判断進撃續行

(3) 時刻不明ナルモ (1600 以前ナルコト確實)

第三部隊トハ連繫ヲ密ニセンガ爲「スリガオ」通過時刻ヲ 〇五〇〇ニ繰上グ

第三部隊ヨリ何等情報ナシ

(4) P 1YB ヨリ一六〇〇發信ニテ「空襲被害甚大ニテ爾後ニ成算ナク一應反轉スベキ」決意ヲ中央ニ打電セルヲ傍受、一八〇〇頃(?) P 07 ヨリ「天佑ヲ確信シ全軍突撃セヨ」ノ電アリ

當時ノ1YB主隊ノ位置ヨリ「レイテ」突入ハ相當遷延スベク之ト策應
 スベキ第三部隊ニ對シ行動指令セルモノト豫期セシモ行動變更ノ指
 令ナク「2S」ヨリ「豫定通突入決行」ノ悲壯ナル電アリ（時刻不詳）
 「1YB」ヨリ「主隊ハ「サンベルナルチ」通過後「サマール」東岸寄
 リニ南下進撃ス第三部隊ハ1000「25」サマール」南端Lt（？）ノ東方一
 ○渥（？）ニテ主隊ニ合同スル如ク行動セヨ」ノ命アリ
 （時刻不詳ナルモ「2S」發信ノ前電ヨリ後刻ナリト記憶ス）
 右情況ニ依リ「スリガオ」通過時刻ヲ更ニ二時間繰上グルニ決シ
 （○三〇〇通過突入）SPヲニ増加ス
 警戒航行序列

P 0P 18dg
 0a 7dg
 P 0 21S
 0a 18dg
 P 0 18dg

セ「スリガオ」海戦

(1) 二二〇〇頃

「トナル

二十四日

二四〇〇

頃 第三部隊が敵ト交戦中ナル電話傍受（當時尙猛烈ナル「スコール」）

〇一〇〇

頃 「スコール」切角ヨリ前方視界限度ニテ砲戦中ノ内光ヲ認め（約十分位カ？）

時刻不詳

2YB 2S ヨリ「魚雷一命中」ハ突入準備ト爲ス

218
18d
18dg

南方航海中 2877 ヨリ視界狭塞猛烈ナル「スコール」

○四三〇

頃最上艦首ニテ那智艦楯ト觸接（交角約十度）足柄ハ

外側ヲ避航、那智ハSP 18Kニ減退、揚錨機室浸水損材

大破、尙舵室ニ浸水ノ傾向アリ

○七三〇

頃（各艦未ダ分在シアリテ）ハ各艦ノ情況調査中ノ敵

約十數機ノ空襲ヲ受ク被害ナシ

潮ヲP 18d、曙ヲ最上ノ警戒艦ニ指定發令ス（艦名ハ反

對ナルヤモ知レズ）

P 18aハ護ニP變更ヲ決意、横着作業中〇九〇〇頃第二回ノ空襲約

三十機ノ攻撃ヲ受ク

最上ニ直撃彈一、被害累増其ノ他被害ナシ P 18aハPヲ護ニ變更ス

阿武隈及潮

(イ)「ウガヤン」回航中同地ハ修理不適ナル旨 GXYヨリ通知アリ同地西

方約60ノ「ダビタン」ニ變更終夜徹宵應急修理 12ノ程處ノ航行可

能トナル

(ロ) 0700 28 頃出港、出港後大型一機ノ攻撃ヲ受ケ被害ナカリシモ十一時

頃(イ)大型約三十機 (B24一部 B25)ノ集中攻撃ヲ受ケ直撃散發
一二〇〇沈没

(致命傷ハ艦室火災ヨリ格納庫内魚雷爆發爲ニ船体切斷セシニ依
ル)

生存乗員ハニ收容^{SM/27}「コロソ」合同

最上及曙

(イ)最上ハ爆撃被害ニ依リ火災再燃、艦危殆ニ瀕スルニ至レルヲ以テ

乗員ヲ警戒ニ移乗

(ロ)曙救助ノ途ナシト判断クカハ之ガ處分ヲP2Pニ申請セシモ回答ナ

ク我又指揮下ニナカリシ爲之ガ下命ヲ決シカネツツアリシガ艦ノ

狀況益々悪化シ最早處分ノ外ナシト認メラルルニ至リハ之ヲ當

撃處分ス

(ハ)曙ハ最上乘員ヲ收容「コロソ」ニ向ヒシヲP2YBヨリ「マニラ」直

航ヲ命ジタリ

(附) 不知火ノ最後

一、「レイテ」増援輸送作戦實施中ノ16Sハ(青葉被害後)鬼怒

ニ變更シ鬼怒及浦波ノ兩艦二十六日「シブヤン」海ニ敵ノ

攻撃ヲ受ケ浦波沈没、鬼怒又大火災ヲ生起シ盛ニ救援ヲ求メ

ツツアリ

二、當時GKTニハ之ガ救援ニ充當スベキ艦艇ナク1YB又自隊ノ收容救援

ニ餘力ナキヲ以テP2YBハ練達ノ井上司令指揮ノP18dg 不知火ニ

救難ヲ命ジ二十六日日没時頃「コロシ」發

三、不知火ハ^{早朝}現場附近着捜索スルモ鬼怒ヲ發見セザルニ付歸

途ニ就ク旨報告アリ、次ニ〇九〇〇發信ニテ「我敵」十數

機ト交戦中」ノ電ヲ發シタルママ爾後一切ノ連絡ヲ斷チタリ

四、P2YBハ「マニラ」入港後所在水偵隊及自隊ヲ以テ「シブヤ

ン」海一帯及「ミンドロ」周邊ヲ三日ニ亘リ偵察セシ結果

十一月七日(?)ニ至リ次ノ如キ情況ヲ確認沈没ト認定報告

スルニ至レリ

比島沖海戦ノ歸途ニ攻撃ニ依リ大破セシムル波ハ「ミンドロ」島南方
「セシララ」島東岸ニ擱坐中ナリシ處ニ十七日午前東方洋上ニ「」攻撃ヲ受
ケシムルアリ該攻撃ニテハ沈没セザリシモノ一五〇〇頃更ニ約
十裡同島東方洋上ニテ「」ハ「」ノ攻撃ヲ受ケ轟沈セシヲ視認
短艇ヲ派シタルモ遂ニ一人一物ヲモ收容シ得ザリシト云フ
當時艦艇所在調査ノ結果右ヲ不知火ト判断セラレタリ尙「ミ
ンドロ」島海岸ハ限ナク「」偵察セシモノ人影ヲ發見スルコト能
ハザリキ

「レイテ」海戦「スリガオ」部隊参加駆逐艦ノ行動

朝雲艦長 中佐 衆山 一雄
(岐阜縣稻葉郡更木村小佐野)

滿潮 田中 一生

昭和二十一年三月十五日於史實調査部

○第四駆逐隊六時雨、山雲、朝雲、滿潮「ハープルネー」ニ於テ YBニ

合流、同所ニ於テ第三戦隊ヨリ補給ヲ受ク

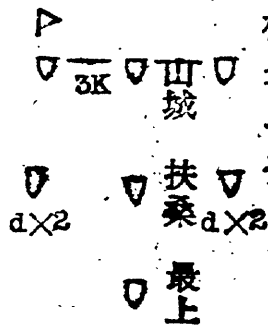
○十月二十二日 2YB 第三部隊トシテ「フルネー」出撃

○十月二十四日 午前「グラマン」約二〇―三〇機ノ航空攻撃ヲ受ク

戦果 二機撃墜

扶桑後甲板炎上ス

陣形



○同日夕刻ヨリ天候悪化シ始ム

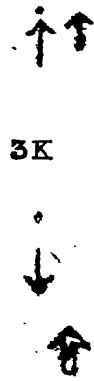
同日ノ戦闘ニ於テIVBハ相當ノ被害ヲ受ケ、「レイナル」ニ同時突入困難ナルヲ予想ス。満潮艦長ハ司令ニ對シ、指揮官宛意見具申ヲ述ベント思考セルモ中止ス

○夕刻、「山城ヨリ「ソコド」灣ノ魚雷艇ヲ掃蕩シ（約十隻程度アリト判断ス）正子前「リマサマ」^{BOROD}（Iriasa Island）ノ南西端附近ニ於テ合同ヲ命ゼラレ先發ス

○「リマサマ」島西方ニ於テ敵魚雷艇ト交戦シ、「ソコド」灣突入ヲ取止ム

○二四〇〇前頃「リマサマ」島西南ニ於テ主隊ニ合同ス

當時ノ障形



視界 約三軒（戦艦ヲ認ムルニ困難ヲ感ズ）

○「バナオン」(Peleon Island)ノ南端ヲ十八節ニテ北上ヲ企圖ス

其ノ當時ヨリ、魚雷艇ノ執拗ナル攻撃ヲ受ケタルモ、被害ナシ

〇〇ニニ〇頃 第二番艦タル山雲ハ魚雷ヲ受ケ、航行不能トナル

〇〇ニニ〇頃

滿潮 (左舷機械室命中)

次テ朝雲(三番艦)一番砲下ニ命中、當時右前方ニdヲ認ム

〇朝雲ハ約十二節以下ノ速力ニテ「バナオン」島東側ヲ南下ス

北方ニ山城ノ砲聲聞ユ(扶桑ハ早クヨリ沈没)

〇〇〇〇頃 後方ヨリ最上(火災ヲ認ム)ノ南下ヲ認メ、之ニ追

求セントシタルモ速力及バズ

〇夜明前、北方ヨリ電探射撃ヲ受ク

最上ニハ六弾、朝雲ニハ四弾ノ集中ヲ認ム

〇次テ朝雲艦尾ニ命中火災、更ニ後部ニ魚雷ヲ受ケタルモ、
〇Ktノ速力

ヲ維持シ得タリ

〇夜明頃 火災強マリ、總員退去、内火艇ニ移乗ス

○夜明後 籠「マスト」ヲ認ム、次ヲ20し30隻艦隊南下シ來リ、朝雲

ニ對シ集中射撃ヲ實施シ、遂ニ沈没ス

○近接シ來リ、内火艇ヲ砲撃沈ス。爾後漂流ス

○午後「カツター」ノ漂流ヲ見、之ニ移乘シ、半島ノ南ニ漂流ス（何

處カワカラナイ）

次ヲ島民ニ連行セラル

○滿潮艦長

二十六日ニ五〇し六〇隻ノTBノ北上ヲ認メタ

約四十時間後意識不明ノママ米國TBニ救助セラル

(終)

1YB 第三部隊比島沖海戦経過概要

一 参加船艇

指揮官 西村 中將

2S 山城 (篠田大佐) 美濃 (伴大佐)

最上 (藤間大佐)

44g 司令 高橋大佐

蒲潮 (田中少佐)

朝雲

山雲 (小野中佐)

時雨 (西野中佐)

二 経過

概 1500 22 Brunsat Bay 出港、敵潛ヲ撃滅シ Paternan Passage 國載常用航路
不直角ニCo.約ヲニテ横断四方ニ航進後 1200 23 頃 Balabac with ohan. 適

速力概不 18 Kt 隊形次ノ如シ

〇 浦潮
〇 朝雲

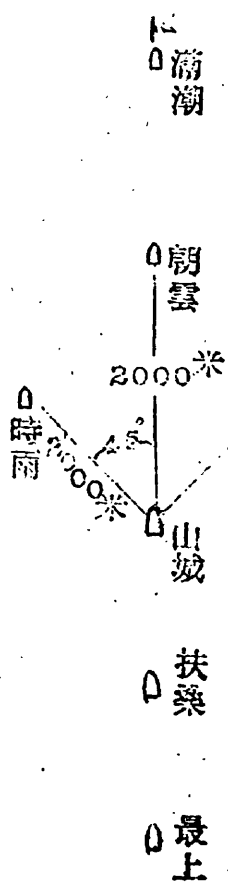
〇 最上
〇 山城
〇 森葉

〇 山雲
〇 時雨

0800 24 頃 Cagayan I / SSE 30 附近ニ於テ雷爆約二二機ノ攻撃ヲ受ケ扶葉

甲板飛行機射出機附近ニ命中火災(大暴ニ至ラズ消火)、時雨一
砲塔ニ手榴弾ノ如キ小型B命中砲員ノ大半死傷

20 24 頃最上 4dg 先行 Sogod Bay 附近ノ偵察ヲ命ゼラレテ出發ス
時雨ハ山城ノ先頭ニ占位ス



山雲

2045 24 頃 Cartridges ノ 西方 30 附近 南方 ヨリ 魚雷艇 (隻數 不明ナルモ 隻以上) 來襲、距離 約 五〇〇〇 米 附近、時雨 擊沈ニ任ジ 各艦 照明 射撃、敵魚雷艇 發射セルモ 命中セズ、約 四〇〇〇 米 以上 接近セズ以テ 之等 魚雷艇ハ 終始 我ニ 接觸セリ

2330 24 頃 最上、4dg 復歸 SIGHTED 方面 美狀ナキ 旨 報告セリ

突入 隊形ヲ 制形ス、遠方 20 Kt

0130 25 頃 Sullan I.ノ東西線附近通過速力 K_t 20

航路若干中央ヨリ Dinagat 寄り

0159 25 頃 NNE 約八〇〇〇米附近ニ米 $d \times 3$ 以上盛ニ煙幕ヲ展張シツツ雨下

シ来リ反轉シタルヲ認ム、之ニ對シ照射砲撃

附近ニ (Magsol Pt. 附近ト推定) 0×1 $d \times 2$ 以上盛ニ煙幕ヲ展張シツツ雨

下シタルヲ認ム

之ニ對シテハ殆ンド射撃セラレズ (時雨電探射撃分離不能、照明弾

射撃ヲ下命シタルモ時間ヲ要セリ)

山嶽、時雨ハ戰術隊形成形ノタメ朝雲ノ後尾ニ占位スル如ク運動ス

0255 25 頃 (後ヨリノ推定位置 Hibouan I. (一八九米)ノ $202.9.5$ 附近?) 京

西ヨリ略同時ニ魚雷馳走シ來リ^{4X3}ニ命中、山雲ハ約五分キヤ轟沈

滿潮、朝雲ハ盛シニ蒸氣ヲ噴出シツツ航行不能

山城ハ略中央ニ魚雷命中ノ水柱ヲ認メ恰モ船体前後ニ兩斷セシ如ク

見エタリト云フモノアリ（但シ艦長ハ其ノ時之ヲ承知セズ約三〇分

後承知セリ）

時雨ハ其ノ儘約^{Kt}26ニ増速電探回避運動ヲ行ヒツツ進撃シタルモ間

ナク後續艦ヲ全部見失ヒタルヲ以テ山城ノ状況確認ノ爲反轉間モナ

ク扶桑、最上ヲ認メタルモ山城ハ之ヲ確認スルニ至ラザルヲ以テ更

ニ反轉北上扶桑ノ前程ニ就クベク北進中⁰³¹⁰25頃（Hidango H.）ノ西ニ

進出シタル際一扶桑ハ敵彈ニ依リ全艦火災航行不能トナル（艦首方

向東）此ノ際最上ヲ見タルニ^{SSW}約一二〇〇〇米附近ニ火災ヲ發シ南

ニ向首シ航行不能トナリタル如ク認ム（兩艦ニ敵彈ノ命中ハ閃光破

壞物四散ノ狀況恰モ繪ヲ見ル如キ凄慘ナル狀況ヲ望見セリ）

其ノ他艦影ヲ認メズ又敵彈雨ノ如ク飛來スルモ敵ノ所在全然見當附
 カズ 0315 頃 一應戰場ヲ離脱再舉ヲ決意シ南下ス、速力約 ^{Kt}30

約二〇分後舵故障一時漂泊約三〇分ヲ要シテ以後應急操舵ニテ南下

0600 25 頃 Bilt P. ヲ通過 1000 25 頃 Station H 東方ニテ B24 ノ爆撃ヲ受ケ

タルモ命中セズ、Coron Bay 妙高ニ至リ應急修理ノ心算ニテ向ヒタル

モ敵機 Coron Bay ヲ爆撃シツツアリ且 1YB 主力モ Burnet Bay ニ回航ノ要

アリタルヲ以テ 1200 26 頃 Lingapacan I. 南 Parawan Passage ヲ經テ 0830 27 頃

Burnet Bay 着

(時雨艦逐艦長 西野中佐記)

GKF 參謀高馬大佐歸還報告（千早部員聽取）

（昭和二十一年一月十四日 於史實調査部）

一 在職期間

昭和十九年八月二十五日「マニラ」着任、以後終戦迄
當時戦況逼迫シアリ結局現地ヲ視察スル暇ナカリキ

ニ「レイテ」作戰

(1) 「ダバオ」誤報事件

昭和十九年九月始メ「ダバオ」ニ於テ敵上陸ノ誤報ヲナセル事件アリタリ

爾後調査ノ結果海岸ノ波ヲ見テ誤報セルモノナリ

本報ハ百菲方面ノ戦備促進ニハ與リテ力アリタリ

(2) 昭和十九年十月十七日頃敵ノ偵察等ヨリ判斷シ「レイテ」方面來攻ノ算大ナリト判斷シ十月二十日頃「レイテ」方面來攻ノ算アル故

情況判斷ヲ出セリ

(ハ)「レイテ」方面陸軍部隊ハ占領當初ヨリ駐屯セル部隊(約一ヶ師)ニシテ陸軍側ニ於テハ相當自信アルガ如キ「物ナリキ、更ニ又陸軍側ニハ「ルソン」一決戦ノ意思根強キモノアリ」「レイテ」増援作戦ニ關シ若干抵抗ヲナセリ

(ニ)「レイテ」増援作戦

○十月二十五日頃(日時?)鬼怒其ノ他ヲ以テ「カガヤン」ヨリ歩兵二大ヲ「レイテ」ニ増援セシヲ始メトシ高速T、小艇艇、蟻輸送等總ユル方策ヲ實施セリ

○高速Tヲ以テスル方法ハ第三回迄ハ相當成功セルモ爾後ハ殆ンド不可能ノ情態トナレリ

○輸送ハ合計十六回(?)ト記憶ス

○陸軍ニ於テハ第一回方面軍ト現地第三十二連トノ連絡極メテ不良ニシテ海軍ヨリ派遣通信隊ヲ三回出シ辛ウシテ連絡ヲ實施スルヲ

得タリ

○ 問 「レイター」ニ對シ當初更ニ一ヶ師ヲ投入シタリトセバ如何ナ
リシヤト思考セラルルヤ」

答 「相當面白カリシナランモ大勢ヲ絶對的ニ轉換スルニハ至ラザ
リシナルベシ」

○ 問 「レイター」決戰ヲ棄テ「ルソン」決戰ノミ實施シタリトセバ
如何」

答 「レイター」ヲ敵手ニ入ラシメタル以後ニ於テハ大差ナカリシ
ナラン」

○ 「ミンドロ」作戰

○ 「サンホセ」ニハ民間ノ^⑤アリ陸軍一ヶ中隊アリタルノミ

○ 禮號作戰

始メ dg (隊名忘失)ニ突入作戰ヲ命ゼラレタルモ實施スルニ至ラズ
次デ 2Sd (ト木村昌福少將)ニ實施ヲ命ゼラレ突入若干ノ成功ヲ見タ

ルモ大勢ニ影響スル處ナシ

○「ルソン」作戦

○二十年始メ迄ハ南部「ルソン」「バタンガス」方面ニ上陸ノ算大ナリト判断、「リンガエン」方面又其ノ算ナシト認めタルモ實質的ニハ戦備ヲ増強ルニハ至ラズ

○「ルソン」作戦ヲ領ハ小官着任當時ヨリ研究ニ着手セルモ結論トシテハ各軍各隊別個立作戰ノ外途ナシト謂ハザルヲ得ザリキ
尙武(14HA)ハ其ノ指揮ヲ始メ「マニラ」東方ト豫定セルモ次デ後刻「バギオ」ニ變更セリ

GKPF 司令部ハ兩軍連絡ノ見地上尙武司令部ト所在ヲ同一ニスル方針ニテ諸施策ヲ實施セリ

○二〇一―五敵ハ「サンフェルナンド」「リンガエン」方面ニ對シ砲撃ヲ實施シ同方面ノ上陸確實トナルニ及ビ GKPF 司令部ハ「バギオ」

ニ移轉スルニ決シ五日夜參謀副長外數名ヲ「マニラ」ノ殘務處理ニ
發シ爾池ハ「バギオ」ニ移動ヲ開始シ一月六日ニ到着セリ（尙武司
令部モ一月五日「クラーク」ヨリ「バギオ」ニ到着セリ）

「マニラ」ヨリ「バギオ」ニ移動セル兵力ハ約二五〇〇（内戰團員
五〇〇）始メ同地ノ糧食等極メテ不充分ナリシモ「サンフェル」方
面ノ海沒船ノ糧食ヲ移動シ一月中ニ略三分月分ヲ蓄積セリ

○「マニラ」東方ノ戰鬪情況

「マニラ」陸海軍部隊ハ 31 Bg 司令官岩淵少將ハ振武集團長ノ指揮下
ニ在リタリ

岩淵少將ノ報告ニ依レバ現地陸海軍間ニ何方割リ切レザルモノアリ
右ニ關シ尙武ニ於テ打合セノ結果、岩淵指揮官ニ對シ「マニラ」ヲ
脱出シ爾後引續キ部隊ヲ指揮スベキ旨陸海軍兩軍ニ於テ參謀長申進
ノ形式（？）ヲ以テ打電セルモ其ノ後ノ情況ハ不明ナリ

（爾後終戰後「キヤンブレ」ニ於テ聞ク處ニ依レバ司令官ハ一時機兵

營、在リ、海軍部隊ハ令ナクシテ陸軍部隊指揮下ニ入ルベキ旨指令セラレアリタリ

○「バギオ」方面以後ノ戦闘

六月十一日「バギオ」陥落

爾後 GK 兵團ト分離、虎兵團ト連絡「キユシニキロ」方面ニ於テ立

籠ヲ築セリ、終戦時 GK 兵團ハ「チノク」(標高二〇〇〇米)ニ在リタ

リ

○終戦時ノ各部ノ情況ハ九月中ノ糧食(米一人^{200gr}及藪主食)ヲ保有スルニ過ギズ、燃料ニ乏シテハ皆無ニ近カリキ

○「バヨンボ」方面ニハ五〇〇名(内第一線半分)右ノ外一部「イランガラ」ニ移動セルモ状況不明

○「アバリ」「ツゲガラ」方面ハ大シテ苦勞ナカリシ模様ナリ

(終)

板谷隆一中佐手記

一九一九年 19d 「ホサ」比島方面

誌 (自昭和十九年十月二十日
至昭和二十年三月三十一日)

月日	記	註
一〇・二〇	二八三〇馬公入港良藥丸ヨリ燃料補給 二二三〇口 5F 訓示	21d (郵管、足柄) 18d (阿武隈)
一〇・二二	5F 21d (218 18d (218) (馬公出撃「イニラ」ニ向フ	18d (不知火、霞) 14g (曙、潮) 2 14g (若葉、初霜、初春)
一〇・二二	「イニラ」回航ヲ止メ「コロシ」ニ向フ晴波荒シ	

1731

一〇・二三	<p>一二三〇敵四發一機ヲ発見ス比島西部 (電探ニテ捕捉セリ極メテ優秀ナリ) 一八三〇「コロロン」着¹⁸ヨリ燃料ヲ補給ス²¹</p>	
一〇・二四	<p>〇二〇〇「コロロン」發「レイテ」ニ向フ 空襲ナシ</p>	<p>此ノ日^{17,18}盛ニ空襲ヲ受ク</p>
一〇・二五	<p>〇三〇〇「スリガオ」水道入口ニテ阿武隈魚雷艇ノ 雷撃ヲ受ク一本命中 出シ待ル速力九節 入口附近遊ベ、他ハ「レイテ」海ニ突入ス 〇五〇〇 突入部隊反轉シ來ル 霞ニ旗艦艦(△)ヲ 襲更ス 最上反轉シ來ル曙ヲ之ニ附シ 阿武隈 ニ潮ヲ附シ¹⁸及霞、不知火ハ反轉西方ニ向ヒ再起ラ 圖ル 艦上機十七機來襲雷撃被撃ナシ 鬼怒及¹⁹ニ會フ 一三〇〇 霞ハ情況調査ノ爲反轉シ曙及阿武隈ト合 同ス 阿武隈ハ「タビダン」ニ回航シテ應急修理セ シム 曙、霞ハ十六節ニテ「コロロン」ニ向フ 途中曙ヲ「マニラ」ニ直航セシム</p>	<p>此ノ日「レイテ」突入戦 ナリ 25、最上、²⁴ハ²⁵ヨリ先 ニ突入セル 戦鬪情況不 明</p>
一〇・二六	<p>一〇〇〇²⁴九機ノ爆撃ヲ受ク 被害ナシ</p>	

一〇・二七	<p>一七〇〇 「コロン」入泊 夜日榮丸ヨリ補給ス</p> <p>〇五三〇 日榮丸ヨリノ補給終了</p> <p>〇八〇〇 「コロン」發「バラワン」島北西側ニ回遊</p> <p>還動ヲ行フ潮入港シ來ルニ二〇〇〇「コロン」發那智</p> <p>(Σ5F) (Σ18d) 艦「リバナカン」水道ヲ經テ「マニラ」ニ向フ</p>	
一〇・二八	<p>「マニラ」灣ニ入ル</p>	
一〇・二九	<p>「レイテ」灣ニ偵察</p> <p>AX8 BX4 TX22</p>	
一〇・三〇	<p>「レイテ」灣ニ偵察</p> <p>AX2 AcX1</p> <p>艦船二四隻戰艦ヲ含マズ</p> <p>(A正 ハ「ハンコック」型)</p>	<p>二次多號偵察ナリ</p>
一〇・三一	<p>一五〇〇「マニラ」ニテXクカX以上作戦打合せ</p> <p>混ヲ擧ゲル夜雨</p>	<p>二次多號偵察ナリ</p>
一〇・三二	<p>〇七〇〇 出港雨ナリ此ノ日敵機ニ發見サレズ</p>	<p>(霞、初春、初霜、曙、潮、岸波、及TX)</p>

一一・一	<p>一〇九〇〇頃ヨリ敵哨戒緊急信多シ</p> <p>三一〇一〇號輸送船ヨリト交戦中</p> <p>三一三三〇ヨリ及一船團ニ觸接ス</p> <p>一七三〇ヨリ味方ト交戦スルヲ認め(上空)</p> <p>一八三〇「オルモツク」泊地突入</p> <p>一九〇〇揚荷開始ス</p>	
一一・二	<p>午前ヨリシキリニ來襲 味方直衝機ト交戦ス</p> <p>一二五五²⁴ 二三四機、³⁸ 十五・六機來襲</p> <p>船團爆撃 能登丸沈没ス他異常ナシ</p> <p>一九〇〇揚搭ヲ打切り泊地發北上ス</p>	揚搭率 95%程
一一・三	「マスバテ」海ヲ北西進ス、味方戦團機アリ	
一一・四	「マニラ」入港	

<p>一一・五 陸軍「レイテ」海偵察 タクロバン沖「舟艇40」 「タラグ」舟艇40 此ノ日午後艦上「マニラ」空襲一五三〇頃 暴着爆撃雷撃ニ依リ沈没 火災、潮 初春急登ニ赴ク 18d 霞及初霜</p>	<p>一一・六 〇七三〇 急援隊「マニラ」港ニ歸投</p>	<p>一一・七 多號作戦第四次急送作戦打合せ</p>	<p>一一・八 〇八三〇 第四次急送隊（若月、霞、霧、秋霜、朝 霧、長波反）「マニラ」出撃 「サンタクル」 ス「ニ達上機出現ノ誤報ノ爲一時引返シ」〇三〇便 メテ出撃セリ</p>	<p>一一・九 「オルモツク」人口ニテ一八〇〇ヨリ約二十 五ノ超低空爆撃ヲ受ク戦闘時間約十五分 戦果約十機 高津丸一發命中セル外大ナル被害ナシ一八三〇 「オルモツク」ニ突入ス 大發全然灣内ニテク揚塔出來ズ</p>
---	--	---------------------------------------	---	--

11.10	<p>夜襲部隊ハ魚雷艇延十隻ト交戦之ヲ退セリ、揚格艦ヲ爲海防艦(BD)ヲ以テ人員ノミ揚陸セシム</p>	
11.11	<p>○九〇〇ヨリ來襲ス 急送送ハ風有困難ヲ克服シテ揚陸ヲ強行ス一〇三〇出港ニ決ス 一三〇「カモテス」島北側ニテ三十五機ノ超低空襲ヲ受ク 戦果約十機 高津丸、香椎丸沈没十機 海防火災擱坐、霞、長波、朝霜、朝霜ト三隻ハ人員ヲ救助ス 秋霜及金蓋丸先港セシモト交戦各艦一ノ命中弾アリ 二〇四五 第三四輪 敵ト反抗ス長波朝霜ヲ分離ス</p>	<p>三四輪送敵 (2nd及TX5) 此ノ日2nd全滅ス 朝霜タケ残ル</p>
11.12	<p>一八一五「マニラ」入港 二〇〇〇 GKTニ報告ス</p>	
11.13	<p>「マニラ」在泊 ○七三〇敵 KLBノ海上機「マニラ」船舶空襲 三次ニ亘リ來襲</p>	

一一・一五	<p>沖波、初春被彈大火災沈没 潮擱坐 木會沈没「カビテ」曙、秋 類、大破 商船殆ンド 益部火災トナル 二三四五「マニラ」出撃ス（霞、初霜、朝霜、潮、 竹）昭南ニ向フ</p>
一一・一六	<p>一一三〇初霜、朝霜ヲ分離シ「ブルネイ」ニ向ハシ 一八〇〇 潮、竹、霞新南群島ニ投錨ス霞ヨリ潮ニ 燃料ヲ補給ス ウネウニヨリ苦勞ス</p>
一一・一七	<p>〇九〇〇出撃「ブルネイ」ニ向シ此ノ日「ブルネイ」 一三三十機 38 三十機來襲 1XB 之下交戦「ブルネイ」 又安住ノ地ニ非ズ 夜令ニ依リ反轉シ新南群島ニ向 フ</p>
一一・一八	<p>一一三二〇長島錨地着 夕刻 霜月入港ス 日ヨリ燃料補給ヲ行フ 一一〇〇頃（羽黒、足柄、榛名、大淀、初霜、朝 霜）入港ス此 日〇六〇〇竹「マニラ」ニ向ケ出港 ス</p>

一一・一九	○六三〇 18d 對潛警戒ニ出撃〇七〇〇YB (伊勢、日向、羽黒、足柄、大淀、霞、初霜、朝霜、潮) 出撃「リング」泊地ニ向フ
一一・二〇	本日附 18d 解除、28 d 編制サル
一一・二一	一階西進「リング」泊地ニ向フ
一一・二二	○八〇〇大淀激溜ヲ發見霜月、朝霜ヲシテ協同攻撃セシム一五三〇「リング」ニ入港ス
一一・二三	○九三〇籠ヨリ 28d ハ大淀ニ移ル霜月ハ 38トシテ出港セリ

1738

一一・二四	岸波〇七〇〇「リンガ」出港 昭南ニ向フ
一一・二五	〇四五〇 續月沈没ス
一一・二六	〇七三〇 朝籍 昭南ニ向フ
一一・二七	大淀〇七四五 「リンガ」發昭南ニ向フ一九三〇 入港
一一・二八	略
一一・二九	龍、初籍、様名ヲ設テ出港ス(一七〇〇) 一六〇〇 2日ヲ潮ニ投ス
一一・三〇	大淀出港「リンガ」ニ向フ

1739

五・一四	一四〇〇 ^{5P} カムラン湾着マニラ灣此ノ日敵 ^{1KB} ノ空襲アリ
五・一三	^{5P} カムラン湾ニ向ケ出港ス 此ノ日敵ミンダオ海ニ侵入スル報アリ
五・一二	略
五・一一	
五・一〇	
五・九	
五・八	朝Yニュー昭南發リンガニ行キ ^{5P} 司令部ト作戰打合
五・七	朝籍、五十鈴昭南發〇七三〇 スラバヤニ向フ此ノ日敵オルモツクニ入ル報アリ
五・六	略
一一・四	天津風ノ反射管ヲ清籍ト交換ノ件交渉ス
一一・三	略
一一・二	
一一・一	

1740

五・一五	一一〇〇出港準備中ノ處延期トナル
五・一六	一六二〇一機カムラン灣偵察 一六五〇一機カムラン灣入港
一一・一七	五P〇八〇〇出港遅退ス 此ノ日カムラン灣敵機爆撃 ス サンヂヤツクニ向フ 此ノ日〇七〇〇機、初 霜、日榮丸ノ護衛ニ向フ
一一・一八	一五一五五Pサンヂヤツク入港 入港直前 七〇機 サイゴン來襲ストノ報アリ再ビ遅退ス 一九三〇サンヂヤツク沖ニ投錨セリ 此ノ日〇一〇〇初霜、霞、日榮丸ト分離陷南ニ向フ
一一・一九	〇二〇〇日榮丸ヨリ燃料ヲ補給ス
一一・二〇	P ^{OKP} ヨリP ^{Ed} 宛「P ^{Ed} 指揮ノ元ニサンホセ突入戦 ヲ實施スベキ命來ル」
一一・二二	午前突入作戰要領ヲ作製ス 一八〇〇足柄、大旋、清霜、朝霜カムランニ向ケ 出港ス
一一・二二	此ノ日荒天ノ爲カムラン灣ニ入港出來ズ
一一・二三	一一三〇カムラン灣ニ入港 一六〇〇作戰打合せ

一一・二四	<p>○九〇〇カムラン灣出撃(足柄、大淀、清精、朝精、權、樞、杉、盛)サンホセニ向フ。荒天</p>	
一一・二五	<p>東進ヲ續ク荒天ナリ</p>	
一一・二六	<p>天候回復 一六三〇大型機二機發見ス 日没迄異常 シン 月夜 二〇〇〇頃ヨリ敵機上空ニアリ交戦 清精爆彈一命中大火災後沈没 大淀爆彈命中二 足柄一命中、樞一命中、清精ノ他ハ一意突入ス 魚雷艇六、七隻發見交戦 二三〇〇サンホセ灣砲撃音響 二四〇〇砲撃止メ引湯グ護及朝精ハ清精乗員ヲ救助ス</p>	
一一・二七	<p>○二三五清精乗員ヲ救助シ歸途ニツク 夜機同トナク洞接爆撃ヲ受ク</p>	
一一・二八	<p>○一四五敵機發見交戦 ○二三三〇ト分離ス 一隊カムラン灣へ 一七〇〇△發見 一八〇〇足柄、大淀、朝精カムラン灣着 燃料ヲ大淀ヨリ置、朝精ニ補給</p>	
一一・二九	<p>一二〇〇^{43dg}(樞、盛、杉)カムラン入港 一四〇〇カムラン灣出撃サンデヤツクニ向フ</p>	

七・一一	昭南爆撃ス	昭南爆撃ス
七・一〇	略	略
七・九	一三三〇 ^{2nd} 昭南發リンガ泊地ニ向フ 一三三〇リ ンガ着	一三三〇 ^{2nd} 昭南發リンガ泊地ニ向フ 一三三〇リ ンガ着
七・八	略	略
三・六	敵有力部隊「サンフェルナンド」ニ上陸開始	敵有力部隊「サンフェルナンド」ニ上陸開始
三・五	敵有力部隊「サンフェルナンド」ニ向フ報アリ	敵有力部隊「サンフェルナンド」ニ向フ報アリ
三・四	略	略
四・二	略	略
二〇・一一	一五三〇昭南着傷者ヲ病院ニ送ル	一五三〇昭南着傷者ヲ病院ニ送ル
一一・三一	一三南 ^{1st} 下昭南 ^{1st} 一三五六 ^{1st} (5-13 100-55) ヨリ日向電撃被害ナシ	一三南 ^{1st} 下昭南 ^{1st} 一三五六 ^{1st} (5-13 100-55) ヨリ日向電撃被害ナシ
一一・三〇	一三三五サンデヤツク着 一三三〇 ^{1st} 一機サンデヤツク偵察 一七三〇 ^{5th} (足柄、大洗、霞、朝霜) サンデヤツク 發昭南ニ向フ	一三三五サンデヤツク着 一三三〇 ^{1st} 一機サンデヤツク偵察 一七三〇 ^{5th} (足柄、大洗、霞、朝霜) サンデヤツク 發昭南ニ向フ

七・一二	此ノ日敵KaB	カムランヲ空襲ス
一三ヨリ	略	
二二日迄	略	
七・二三	パレンバン空襲アリ	時雨沈没ス(日本ヨリ昭南) 回航中
七・二四	略	
七・二五	響7dG	ニ編入トナル
二六日ヨリ 月九日	略	
二・一〇	49F	艦、朝霜、初霜昭南發 日本ニ回航ス
二・二〇	右部隊	吳入港
三・二二	略	
二・三	一・〇〇P	2sd ヲ矢矧ニ變更ス
二四日ヨリ	略	
三・一七迄		
三・一八	敵KaB	九州土佐沖ニ出現

三・一九	吳 ^{and} ノ空襲ヲ受ク ○七二〇 第一波日向、瑞鳳、大淀、利根、被弾 ○八五二 第二波矢矧被弾ナシ
三・二八	一七三〇 矢矧吳出發兜島錨地ニツク
三・二九	○三四五 兜島錨地 ^の 二向フ 一四〇〇 一機ノ爆撃ヲ受ク被害ナシ 一六三〇 響磁氣機雷ニ觸レ被害アリ 一八三〇 三田尻沖ニ假泊ス
三・三一	三田尻沖假泊中 ^の 一機上空旋回
四・一	此ノ日敵沖繩島ニ上陸開始
四・二	一機上空偵察